

令和 2 年

第 1 回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

令和2年第1回仙北市議会臨時会 市政報告

令和2年第1回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、暖冬に伴う少雪についてです。

1月28日現在の観測地点角館のアメダスによる積雪深は0cmで、昨年同時期が81cmだったことから異常な少雪を記録し、除雪や屋根の雪下ろしなどでは暮らしやすい生活環境が続いています。市道除雪出動回数は、山間部とは異なるものの、角館地区で4回と、昨年度と比べると11回少ない出動です。それに伴い、待機に係る部分を除く冬季交通対策費は、昨年比56%の1億3,528万円と財政に与える影響が少なくなっています。

しかし、雪不足により観光施設や行事等に対する懸念が広がり、冬季の主要観光施設である、たざわ湖スキー場も、スキー場開き後1週間遅れた12月27日に滑走可能となったほか、1月18日から20日に予定していた大会が中止になるなど、近隣の宿泊施設の一部にキャンセルが発生し、影響が生じています。ただ、今年に入ってから1月27日までの入り込み客数は、昨年と比べ104%弱となり、現在は黒森山コースを除くすべてのコースが滑走可能となっていて、多くのお客様に楽しんでいただける状況になったと伺っています。市では、「がんばれ合宿応援事業」の活用などにより、スキー合宿やトレーニングなど、スキー場への団体誘致を継続的に行っていくほか、関係機関と連携しながら引き続き積極的なスキー客誘致に努めています。

小正月行事では、2月10日開催の上桧木内の紙風船上げは、現在、会場や駐車スペースの圧雪造成を進めていますが、雪不足によるスペース確保等に懸念があるなど、本日（1月30日）開催の紙風船上げ保存委員会の全体会議で最終的な対応を検討する予定と伺

っています。2月14日開催の火振りかまくらは、各町内31会場のうち、1月28日現在で9会場が雪不足により実施しない方針と報告を受けています。今後も各町内の意向を確認しながら、角館の観光行事実行委員会で、積雪の状況等を勘案し、2月6日頃を目処に実施場所等を取りまとめて周知を図っていく予定です。このほかの小正月行事についても、それぞれの実行委員会や観光協会等と情報を共有しながら、誘客・周知に努めます。

農業分野では、例年雪の下で越冬する作物が地表に出てしまい気温低下による凍害などが心配され、特に果樹の苗木のほか、春に芽吹く野菜等の生育に障害や病害等の発生が懸念されます。春以降の降水量にもよりますが、雪解け水に頼る水田地帯などでは、かんがい用水不足により農作業に深刻な影響が出る可能性も心配しています。

気象予報では、2月も高温で降雪が少ない旨の分析となっています。今後の気象状況に注視します。

次に、一般会計補正予算（第6号）についてです。

補正額は2億4,330万円の追加で、補正後の額は229億123万7千円となります。補正事業は、ふるさと納税ふるさと便事業費、ふるさと仙北応援基金積立金です。

次に、令和2年度当初予算についてです。

令和2年度一般会計の当初予算は、現在、最終の調整を行っています。新角館庁舎建設や大型の農業関係補助金などもありますが、予算規模の拡大抑制に努力した結果、総額214億5千万円前後となる見込みです。新年度予算を上程する2月定例会で、ご審議いただきますようお願いいたします。

それでは、各部局等の主要事項並びに諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇新角館庁舎建設工事の進捗について

現在、柱や壁などの躯体工事が行われていて、1階部分を2月中旬まで、2階部分を3月末まで行う予定です。

工事は本日（1月30日）現在、進捗率23%で、遅れなく進捗しています。

地中熱利用設備工事は、予定どおりの進捗となっています。

◇仙北市ふるさと納税について

ふるさと納税は昨年末集計で全県1位、1月19日現在で41,552件、7億4,889万3,700円となっています。これまで寄附総額7億5千万円を予算化していますが、年度末までの寄附額もこれまで以上の実績が見込まれることから、更に1億5千万円を増額し、総額9億円とするため、補正予算に所要額を計上しています。ご審議をよろしくお願いいたします。

◇和解金請求訴訟の経過について

1月17日、株式会社渡辺佐文建築設計事務所との和解金訴訟の判決が言い渡され、原告である仙北市の請求を承認する旨の判決がありました。

判決の内容は、和解契約に基づく和解金2,102万円と、クニマス未来館の開業が遅れたことによる損害47万1,475円に、支払いが済むまで年5分の利息を加えて支払いを命じる内容で、市の主張が全面的に認められたものです。

これに対する被告の控訴期限は2月3日までとなっていて、2月4日に確定する予定です。今後は、被告側の動向により対応することになります。

◇東北SDGs未来都市サミット・シンポジウムin仙北市について

1月16日、角館交流センターを会場に、東北でSDGs未来都

市に選定された5自治体による、東北SDGs未来都市サミット・シンポジウムを開催しました。青柳議長をはじめ、沢山の議員の皆様から参加いただきました。誠にありがとうございます。

サミットでは、SDGs未来都市として、理念の普及と地域課題の先導的解決、地方創生に向けた緊密な連携などに合意し、また、郡山市から提案があった、地球温暖化防止に資する取り組みについても相互に連携することで合意しました。

シンポジウムでは、基調講演として日本青年会議所 少年少女国連大使の大仙市立平和中学校二年の久米川華穂(くめかわ かのん)さんと、カードゲーム「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーターの今田裕美(こんた ひろみ)さんから、それぞれの視点でSDGsの取り組みについて、講演をいただきました。

パネルディスカッションでは、「SDGs・持続可能なまちづくり」をテーマに、5首長による意見交換が行われ、最後にサミットで合意した「東北SDGs未来都市サミット宣言」と、「気候非常事態宣言」を宣言し、閉会しています。

当日は市内外から約260人の参加をいただき、SDGsの関心の高さを再認識したところです。誰一人取り残さない世界をつくるため、今後も取り組みを進めます。

◇消防出初式について

1月6日、仙北市民会館を会場に仙北市消防出初式を開催しました。消防団員310人が参加し、市民会館横の旧秋木工場跡地から分列行進を行い、その後に挙行した式典では、これまで長年にわたり消防活動に功績のあった皆様の表彰、また、消防団幹部として退職された方々への感謝状贈呈などを行いました。

◇火災事案について

1月21日、西木町桧木内字除野で火災が発生しました。物置小屋を全焼し、原因は調査中です。

◇インフルエンザ及び新型コロナウイルスの予防対策について

中国で発生した新型のコロナウイルスによる肺炎の感染が世界的に拡大し、日本国内でも感染者が報告されています。市では、総合防災課を中心に、各関係機関との情報共有にあたっています。今後も中国からの観光客を含め、不特定多数の来館者との接触機会が多い角館樺細工伝承館、平福記念美術館、各図書館等を中心に、マスクを着用することとし、また、庁舎など各施設では、玄関ホール・トイレにアルコール成分含有の消毒剤を設置するなど、感染対策を始めています。来訪者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

◇仙北市普通共用林野運営協議会の解散について

1月17日、仙北市普通共用林野運営協議会が開催され、令和元年度末をもって解散することとなりました。

平成29年と平成30年にツキノワグマによる人身被害とみられる2人の死亡事案が発生したことによる措置で、協議会は平成29年から料金徴収を自粛、森林管理署、仙北市では平成30年から玉川方面の国有林への入林禁止措置を実施してきました。料金徴収再開のめどが立たないことや、入山者の減少等も踏まえた決定と伺っています。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げました。本臨時会に提案している案件は、予算関係1件、人事関係1件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。